



NANO-NP1 Web 版取扱説明書 **(補足説明書)**

Ver.1.02

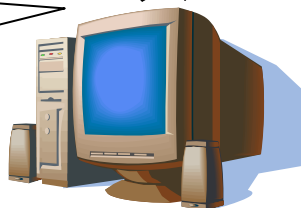
ネットワーク再生のための基本ステップ **(必ずお読みください)**

NANO-NP1 でネットワーク再生するためには、以下の接続図にある機器および接続ケーブルが必要です。パソコンは、パソコン内の楽曲データをミュージックサーバー(NAS)側へコピーまたは移動させたり、無線LAN ルータに接続された各機器の設定を行うために必要となりますが、ミュージックサーバー(NAS)への曲データの移動がすべて済んでいれば、パソコンがなくてもネットワーク再生することができます。

【接続図】

設定に関する操作やパソコン内の楽曲データをミュージックサーバーへ移動するのに使用

パソコン



UPnP コントローラー用機器
(iPhone/iPad/iPod touch/
Android 携帯など)



無線 LAN ルータ



ミュージックサーバー
(NAS)



無線

LAN ケーブル

— 有線接続(LAN ケーブル)

- - - 無線接続



NANO-NP1

ネットワーク再生させるための基本的なステップを説明します。

【基本ステップ】

① ミュージックサーバー(NAS)とパソコンを無線 LAN ルータに接続し、サーバーの設定をします。

ミュージックサーバーの取扱説明書に従って、サーバーの設定を行ってください。

弊社で動作確認済みのミュージックサーバーについては、「2_ミュージックサーバー設定ガイド.pdf」をご覧ください。

② NANO-NP1 を無線 LAN ルータに LAN ケーブルで接続します。

③ NANO-NP1 のネットワーク設定をします。

NANO-NP1 を接続する無線 LAN ルータの DHCP サーバー機能が有効であれば、無線 LAN ルータ側から NANO-NP1 の IP アドレスが自動的に割り当てられるため、本ネットワーク設定を行う必要はありません。手順 4 へお進みください。

無線 LAN ルータの DHCP サーバー機能が無効の場合は、ネットワーク設定を手動で設定する必要があります。設定方法については、「3_ネットワークのマニュアル設定ガイド.pdf」をご覧ください。

④ ミュージックサーバー(NAS)に楽曲データを保存します。

パソコン内に保存された曲データをミュージックサーバー(NAS)の音楽フォルダ内に移動またはコピーします。音楽 CD からの曲データを直接 NAS へ取り込むこともできます(リッピング)。リッピングについては、「4_リッピングガイド.pdf」をご覧ください。

また、NANO-NP1 を快適にお使いいただくためには、ミュージックサーバー(NAS)に保存する曲データのすべてにタグ情報(曲の付加情報)をきちんと付けておくことが重要です。

タグ情報については、「5_タグ情報.pdf」をご覧ください。

⑤ iPhone、iPad、iPod touch や Android 端末に弊社の UPnP コントローラー(アプリケーション)である「ナノコントローラー」(NANO-NP1 専用コントローラー)をダウンロードおよびインストールします。

ナノコントローラーのダウンロードおよびインストール手順については、「6_ナノコントローラーガイド.pdf」をご覧ください。

⑥ iPhone、iPad、iPod touch や Android 携帯の無線設定をします。

無線接続方法については、「6_ナノコントローラーガイド.pdf」をご覧ください。または各端末の取扱説明書をご確認ください。

⑦ 「ナノコントローラー」を使って、楽曲の選択および NANO-NP1 再生を行います。

「ナノコントローラー」の使い方については、「6_ナノコントローラーガイド.pdf」をご覧ください。

再生中の曲のアートワーク(ジャケット画像)がぼやけている場合には、鮮明に表示させることができます。詳細については、「7_アートワークを鮮明に表示.pdf」をご覧ください。

便利な使い方

1. ネイティブモード

1-1. ネイティブモードとは

入力されたサンプリング周波数をアップコンバート(高サンプリング周波数変換)せず、そのままのサンプリング周波数で出力する設定が「ネイティブモード」です。

NANO-NP1の出荷時は、入力信号のサンプリング周波数を「48/96/192kHz」のいずれかにアップコンバートして出力する設定となっています(アップコンバートモード)。

1-2. 「ネイティブモード」への入り方

以下に「ネイティブモード」へ入るための手順を説明します。

- ①本体背面の「UP CONVスイッチ」を48kHzにします。
- ②本体電源がオフの状態、「電源ボタン」を約5秒間長押しして、電源をオンします。

電源がオンすると同時に前面パネルの入力インジケータの「OPT」ランプが約5秒間点滅して消えます。これで「ネイティブモード」への設定が完了となります。
「OPT」ランプの点滅終了後は、前回選択していた入力のランプが点灯します。

★比較試聴ができます。

「ネイティブモード」はUP CONVスイッチを「48K」に設定したときのみ有効です。

UP CONVスイッチを「96K」または「192K」に変更した場合には、設定したサンプリング周波数へアップコンバートされて出力されます。

この動作を利用して、「UP CONVスイッチ」の切り替えにより、「アップコンバートモード」と「ネイティブモード」の比較試聴が可能です。

1-3. 「アップコンバートモード」への戻し方

- ①「ネイティブモード」に入っている状態で、電源オフから「電源ボタン」を約5秒間長押しして、電源をオンします。

電源がオンすると同時に全面パネルの入力インジケータの「COAX」のランプが約5秒間点滅して消えます。これで「アップコンバートモード」に戻ったこととなります。
「COAX」ランプの点滅終了後は、前回選択していた入力のランプが点灯します。
本体背面の「UP CONV」スイッチは、組み合わせるD/Aコンバーターに合わせて選択してください。